

「日本歯科理工学会誌」

投稿規程

投稿の手引き

著作権帰属承諾書

(参考) 投稿票

(参考) チェックシート

一般社団法人 日本歯科理工学会

2024年（令和6年）2月改訂

「日本歯科理工学会誌」投稿規程

1. 投稿資格

投稿原稿の筆頭著者は本会会員に限る。ただし、編集委員会が認めたものは、この限りではない。

2. 原稿の種類および内容

- 1) 原稿の種類は、原著論文、総説、解説およびその他とする。但し総説および解説は原則依頼稿とする。
- 2) 原著論文の内容は、歯科材料、歯科器械および歯科技術に関するもので、他の刊行物に未発表のものに限る。

3. 原稿の査読および採否

- 1) 原稿の査読は、編集委員会および編集委員会が依頼した専門家が行う。
- 2) 原稿の採否は、査読の結果を参考にして編集委員会が決定する。

4. 原著論文の投稿様式

- 1) 原稿は、次の順に一括して投稿する。
投稿票、和文抄録、英文抄録、本文、表、図、倫理委員会の承認を証明する書類（必要な場合）、チェックシート、著作権帰属承諾書。
- 2) 本文構成は原則として、緒論（緒言）、方法（材料および方法）、結果、考察（結果および考察）、結論（結言）、文献とする。
- 3) 上記以外は投稿の手引きに準拠する。

5. 証明書等の発行

- 1) 原稿の受付日は、原稿送付先に到着した日付とする。
- 2) 原稿の受理証明書は、採用が決定したのちに発行する。

6. 掲載料

掲載料は、依頼原稿を除き、刷り上がり4ページまで基本投稿料金40,000円、超過ページは1ページあたり9,000円とする。なお、図、表、写真、別刷、トレース、文字写植、カラー刷り（1ページあたりプラス8,000円）および著者の責任による組替え料は、著者負担とする。

別刷りを希望する場合は、必要部数（10部単位）を投稿票に記載し、実費は著者負担とする。

7. 校正

著者校正は、原則として初校のみとする。この際、印刷上の誤り以外の字句の訂正、挿入、削除などは原則として認めない。必要により編集委員会にて修正を行うことがある。初校時に大幅な訂正が認められた場合は、編集委員会で再度査読を行う。

8. 著作権

本誌に掲載された全ての論文の著作権（著作権財産権、copy right）は、日本歯科理工学会に帰属する。

9. その他

この規程および投稿の手引きに定められていない事項については、別に編集委員会で決定する。

原稿の送付先（本会投稿フォーム）

http://www.jsdmd.jp/publication/ja_form.html

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9

一般財団法人 口腔保健協会内

一般社団法人 日本歯科理工学会

和文誌編集委員会

DE 掲載原稿の送付先は別に定める。

平成 7 年 4 月 1 日改正	平成 22 年 1 月 8 日改正
平成 11 年 4 月 1 日改正	平成 23 年 8 月 31 日改正
平成 12 年 4 月 1 日改正	平成 26 年 8 月 26 日改正
平成 16 年 6 月 1 日改正	平成 29 年 12 月 5 日改正
平成 19 年 1 月 1 日改正	平成 30 年 10 月 5 日改正
平成 19 年 7 月 1 日改正	令和 2 年 4 月 17 日改正
平成 21 年 11 月 11 日改正	令和 6 年 2 月 29 日改正

「日本歯科理工学会誌」投稿の手引き

本誌は、“読みやすい学会誌”を目標の一つとしております。投稿に際しましては、以下の点について統一して頂きますようお願い致します。

原稿はすべて A4 判とし、下記の項目 1)～8) の全てを、本会投稿フォームで提出して下さい（ファイル送付先 [http://www.jsdmd.jp/publication/ja_form.html]）。() 内のいずれかのファイル形式で提出願います。

- | | |
|---|--|
| 1) 投稿票およびチェックシート（投稿フォームに入力） | 5) 表（Word, または Microsoft Office Excel, 以下 Excel） |
| 2) 和文抄録（Microsoft Office Word, 以下 Word） | 6) 図（jpg, bmp, tif, pdf 可） |
| 3) 英文抄録（Word） | 7) 倫理委員会の承認を証明する書類（必要な場合のみ, jpg, bmp, pdf） |
| 4) 本文（Word） | 8) 著作権帰属承諾書（pdf, jpg） |

ファイル名は、著者の名前から始まるものとして、ファイル内容が判りやすいようにする。

例：昭和太郎の投稿の場合：2)～4) をまとめて showa-tarou-honbun.doc, 5) showa-tarou-tab.doc, 6) showatarou-fig.jpg, 7) showa-tarou-shoumei.jpg, 8) showa-tarou-shoudaku.pdf のような構成とする。図は 1 つずつ別のファイルとする。

本学会誌の発行予定日および原稿受付締切日

号	発行予定日	受付締切日（必着）	号	発行予定日	受付締切日（必着）
1	1月25日	9月15日	3	9月25日	5月15日
特別号	3月下旬	学術講演集のみ	特別号	12月下旬	地方会セミナー講演集
2	5月25日	1月15日			

1. 投稿票

投稿フォームに以下の事項を入力する（2）～5）は、英文を併記する）。

- 1) 原稿の種類, 2) 表題, 3) 著者名, 4) キーワード（3～5語）, 5) 著者の所属および所在地, 6) 原稿の内訳, 7) 別刷希望数（50部単位）, 8) 責任者連絡先（氏名, Tel, Eメールアドレス）

1) 表題

- (1) 表題は論文内容を適確に表すものとする。
- (2) 一般に固有名詞として通用していない商品名は用いない。
- (3) 和文表題には、原則として略号以外の英文字を用いない。
- (4) 英文表題は、和文表題の内容と一致させ、最初の文字だけを大文字にする。
- (5) 文字数が30字を超える場合は、ランニングタイトル（30字以内）を別に付ける。
- (6) 副表題が必要な場合は次の例に準拠する。ただし、第報, Part はできる限り用いない。

和・英文：—○○○○○○○○○○○○○○—

続報の和文：第2報 ○○○○○○○○○○○○○○

続報の英文：Part 2 ○○○○○○○○○○○○○○

} できる限り用いない。

2) 著者名

外国人著者名の和文表記は、アルファベット表記とする。

3) キーワード

キーワード（3～5語）のうち少なくとも3語は日本歯科理工学会編、歯科理工学教育用語集の推薦用語から選ぶ。但し同義語は用いない。

4) 所属

所属が1つの場合は不要であるが、複数の時は氏名と所属に番号を付し、重複しないように列記する。なお、所属は正式名称で記す。

例：昭和太郎¹, マイケルワード^{1,2}, 大正花子³, 明治三四郎⁴

¹ 平成大学歯学部歯科理工学講座, ² マイクロ大学歯学部生体材料学講座, ³ 江戸大学歯学部歯科補綴学第II講座, ⁴ 江戸大学歯学部歯科保存学第I講座

Taro SHOWA¹, Michael S WORD^{1,2}, Hanako TAISHO³ and Sanshiro MEIJI⁴

¹Department of Dental Materials Science, School of Dentistry, Heisei University, ²Department of Biomaterials, School of Dentistry, Micro University, ³Department of Prosthetic Dentistry II, Edo University, ⁴Department of Operative Dentistry I, School of Dentistry, Edo University

2. 抄録

和文抄録は400字以内、英文抄録は150～200語とし、両者の内容を一致させる。

3. 本文

1) 原稿はA4判にWordによる和文横書きで、余白25mm, 10.5ポイント文字, 1ページ25行, 35文字を原則とする。

2) 原稿の下段中央にページ番号を記す。

3) 論文の原則的な構成は、緒論(緒言)、方法(材料および方法)、結果、考察(結果および考察)、結論(結言)、文献、とし、I緒論、などとしなす。

4) 見出しを用いるときは次の順に項目をたてる。

3 → 3) → (3) → a → a) → (a)

5) 文章は、専門用語を除いて、常用漢字を用い、新かなづかいとし、口語体とする。

6) 数字はアラビア数字とし、単位の記号はJIS Z8202 および Z8203 に準じ、国際単位系(SI)を使用するよう努める。

10^0 , 10^6 , 10^3 , 10^{-2} , 10^{-3} , 10^{-6} , 10^{-9} , 10^{-12} は、それぞれ G, M, k, c, m, μ , n, p, の接頭語の記号を単位につける。また単位にピリオドをつけない。

例: GHz, MPa, kW, cm, mV, μ m, nA, pF, ml, mmol, N, K, °C, min, cm · s · deg

7) 学術用語は、原則として「日本歯科医学会学術用語集」ならびに「歯科理工学教育用語集」にしたがって表記する。

例: 強度 → 強さ, 硬度 → 硬さ, 抗張力 → 引張強さ, 治具 → ジグなど

8) 商品名, 器械名などは、可能な限り一般名を用い、メーカー表示に準じる。

9) 製造社の表記法は()内に会社名のみを記し、社製および製作所, 工業社製, 株式会社などを入れない。

例: (型式名, 製造会社名), (略号, 製造会社名)

(X-3010, 日立) (EPMA, 日本電子)

10) 外国の人名などの固有名詞は原則として原綴とする。

11) 連続した数値は,「,」でつなぎ、最後に単位をつける。

例: 10, 20, 30°C, A~G, K, X

12) 文中で用いる数式の表示は, $(a/b)/c$ のように表し, $\frac{a/b}{b/c}$ の表現は用いない。

13) 実験式の表示は, 各種記号(変数)を斜体で表し, それぞれの単位は立体で表す。

例: 拡散係数の温度依存性を示す実験式

$$D/m^2s = 1 \times 10^{-4} - \exp \left\{ \frac{-1.20 \times 10^5}{(R/J \cdot K^{-1} \cdot mol^{-1})(T/K)} \right\}$$

14) 用いた統計手法, 有意水準(例: $\alpha = 0.05$)あるいは危険率(例: $p < 0.05$)などを記載する。

4. 文献

1) 文献は, 本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号を付け本文の末尾に一括して掲載する。体裁は,^{1,2},¹⁻³), のようにする。

2) 文献として不適当なもの, 例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しない。

抄録は, 巻のついた学術雑誌に掲載され, その学会会員外の第3者が閲覧可能なものに限る。

3) 文献の記載方法の基本は次のとおりとする。

(1) 雑誌の場合

著者名(原則として6名までは全員). 表題—サブタイトル—. 雑誌名 発行年; 巻(号*):

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

引用ページの初めと終わり.

⑦

*ページ表記が1号ごとに1ページから始まる雑誌(通しページでない)に限り, 号も記載する。

例：McCabe JF, Yan Z, Al Naimi OT, Mahmoud G, Rolland SL. Smart materials in dentistry—future prospects.

①

②

Dent Mater J 2009; 28 (1) : 37-43.

③

④

⑤

⑥

⑦

例：後藤隆泰，足立正徳，亀水秀男，飯島まゆみ，西川元典，土井豊ほか。金属焼付用陶材の機械的性質に及ぼす低速亀裂成長の影響。歯材器 2000；19：154-161。

(2) 単行本の場合

著者名. 書名. 版数：発行所名；発行年. 引用ページの初めと終わり.

①

②

③

④

⑤

⑥

例：Annusavice K. Phillips' Science of Dental Materials. 12ed. : Elsevir Saunders ; 2013. p. 151-181.

①

②

③

④

⑤

⑥

(3) 分担執筆の場合

分担執筆者名. 分担執筆の表題. 編者または監修者. 書名. 巻などの区別：発行所名；発行年. 引用ページの初めと終わり.

例：山田早苗. 橋義歯の力学—傾斜歯ブリッジの形成と設計について—. 日本歯科医師会. 新臨床歯科学講座. 3：医歯薬出版；1978. p.157-165.

(4) 翻訳書の場合

著者（翻訳者）. 書名（翻訳書名. 発行所名：発行年；引用ページの初めと終わり）；発行年.

例：Davidge RW（鈴木弘茂，井関孝善）. Mechanical behaviour of ceramics（セラミックスの強度と破壊. 共立出版；1982：p.34-55）；1979.

(5) 規格の場合

規格名略号規格番号—制定年. 規格タイトル名. 発行所名.

例：JIS T 6116-1990. 歯科鑄造用金合金. 日本規格協会.

(6) ウェブサイトの場合

著者. 記事名, 発行団体. URL（アクセス年月日）

例：中畠 裕, 長沢悠子, 重田浩貴, 江田義和, 日比野 靖. グラスアイオノマーセメントとナノテクノロジー—ナノ粒子添加グラスアイオノマーセメントの性質—追補資料. 日本歯科理工学会. https://www.jsdmd.jp/publication/file/addendum/add_39-03.pdf（2022年8月30日アクセス）

(7) その他の文献については生医学雑誌への投稿のための統一規定（2010年4月改訂版）〈バンクーバスタイル〉に準じる.

4) 雑誌の略名は、当該誌が指定する略称とする。それ以外は、医学中央雑誌、日本自然科学雑誌総覧、日本医学雑誌略号表ならびに NLM Catalog などによる。

5. 図

1) 図や写真は刷り上り寸法以上、解像度は 300 dpi 以上とし、jpg, bmp, tif, pdf ファイルとする。

2) 用紙設定は A4 判を用い、図表 1 つずつ別頁にし、各頁毎に、著者名、片段あるいは両段の指定、刷り上がり寸法（縮尺率）、カラー印刷の有無、を明記する。

3) 図の大きさは、片段か両段一杯になることが望ましい。

刷り上がりを想定して、図の大きさが片段で横幅 65～75 mm、両段で 140～150 mm になるように縮小コピーし、文字、記号の大きさ、線の太さなどをチェックする。

4) 図中の文字は、刷り上がりで本文とほぼ同じ 10～13 級（7～9 ポイント）、線の太さは 0.15～0.3 mm になるよう原図を作成する。

5) それぞれの図の下部に、図の簡潔な説明文を貼付する。英文字は書き出しのみを大文字にし、それ以後は小文字とする。略号はこの限りではない。

6) 組図を希望する場合の組図の原稿は、直角度や貼込み間隔を正確にする。

7) 写真は、刷り上がり寸法以上の大きさに作製し、写真に必要な文字、記号などを記入する。写真の拡大率は、原図中の右下に単位長さのバーで表す。

8) 記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用する。

9) 記号を使用する場合の凡例は、脚注に置かず図中に入れる。

10) 図は、1 つずつのファイルとするか、Word に 1 頁につき 1 つの図を貼り付けたファイルとする。

11) 原図が規定に沿わないときは、編集委員会が再提出を求めるか、もしくは有料のトレースを依頼することがある。

12) 他の雑誌や書籍に掲載された図表を転載する際は、転載元より許諾を得ておく。

6. 表

- 1) 表は Word, または Excel で作成する.
- 2) 縦の罫線はできる限り入れない.
- 3) 標準偏差は, () もしくは \pm とし, 信頼区間との混同を避けるために説明を入れる.
- 4) 表題が英文字の場合は書き出しのみを大文字にし, それ以後は小文字とする. 略号はこの限りではない.
- 5) 単位などの表記は同一言語に統一する. 単位 (unit), 平均 (mean), 標準偏差 (SD)

例

Specimen	Tensile strength MPa	Elongation %
A	500 (20)	10.2 (3.3)
B	300 (15)	5.4 (2.3)

() : SD

試料	引張強さ
A	500 \pm 20
B	300 \pm 15

単位 : MPa, 平均 \pm 標準偏差

7. 倫理規定

ヒトなどを対象とした実験について報告する場合には、当該の研究機関の倫理委員会の承認を得たものであることを論文中に明示するとともに、証明書類 (jpg, bmp, tif, pdf, Word) を原稿提出の際に添付する。

8. チェックシート

チェックシートの指示に従い、投稿原稿を確認し、投稿フォームにチェックを行う。

9. 著作権帰属承諾書

著作権の移譲にあたり、著作権帰属承諾書に著者全員の署名、捺印 (外国人については捺印は不要) を行い、スキャンして画像または PDF ファイルとして投稿原稿とともにアップロードする。

「日本歯科理工学会誌」著作権帰属承諾書

一般社団法人 日本歯科理工学会御中

_____年____月____日

下記に署名した著者は、一般社団法人 日本歯科理工学会「著作権 運用のガイドライン」に同意し、下記の表題の投稿原稿が「日本歯科理工学会誌」に掲載された際には、同誌の投稿規程により、著作権（著作財産権，copy right）を貴学会に帰属することを承諾いたします。一般社団法人 日本歯科理工学会は、いかなる媒体や手段においても、著作物の全部または一部を公開する権利を有するものとします。

論文タイトル：_____

著者（全員：自署・捺印）

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

_____ 印

(参考) 「日本歯科理工学会誌」 投稿票 (第 卷 号)

1. 原稿の種類

a 原著論文 b 総説 c 解説 d その他

2. 表題

和：

(ランニングタイトル)

英：

3. 著者名

和：

英：

4. キーワード

和：

英：

5. 著者の所属, 所在地

和：

英：

6. 原稿の内訳

本文.....枚, 図.....枚, 表.....枚

7. 別刷希望数： 部 (50 部単位)

8. 連絡先

氏名：

住所：

電話..... Fax..... Eメール.....

(参考) チェックシート

貴稿が「投稿規定」および「投稿の手引き」に沿ったものであるか、チェックしてください。確認できた事項については、左欄に○印を記入して下さい。

論文表題：

筆頭著者名：

- 投稿された原稿（図表，グラフを含む）は，オリジナルでかつ他の雑誌，刊行物へ投稿していませんか．
- 表題は論文内容を適確に表したものですか．
- 30字を超える表題にはランニングタイトル（30字以内）が併記してありますか．
- キーワード（3～5語）のうち少なくとも3語は歯科理工学教育用語集の推薦用語から選びましたか．
- 和文抄録と英文抄録の内容は一致していますか．
- 和文抄録は400字以内，英文抄録は150～200語，になっていますか．
- 本文はA4判で，各余白25mm，10.5ポイント文字，1ページ25行，35文字 となっていますか．
- 本文の見出し記号の付け方は，方法→3→3) → (3) → a→ a) → (a)，の様式になっていますか．
- 数字と単位の間には半角スペースが入っていますか．ただし位取りを表す「%」や「ppm」，度合いを表す「°」や「℃」はその限りではありません．また，英数字，ギリシャ文字は半角であることも合わせて確認して下さい．
- 文献の記載方法に誤りはありませんか．
- 図表の用紙設定はA4判となっていますか．
- 各図表に，片段あるいは両段の指定，刷り上がり寸法，カラー印刷の有無，が指示してありますか．
- 図の解像度，大きさ，ファイルの種類は適切ですか．
- 図表の体裁，文字，記号の大きさや位置は適切ですか．
- ヒトなどを対象とした実験の場合，当該研究機関の倫理委員会等の承認を得たことを証明する書類をスキャンした画像を添付してありますか．
- 他の雑誌や書籍に掲載された図表がある場合，転載元に許諾を得ていますか．